

ロジックモデルによる施策の評価(②産業イノベーション関連)

【施策展開】

・3(6) : ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出、 イ 環境関連産業の戦略的展開、 オ MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出

・3(9)：ア ものづくり産業の戦略的展開、イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成

施策 ※1 (当該施策が属する施策展開)	主な取組【達成状況】	達成：90%以上 概ね達成：75%以上～90%未満 進展：60%以上～75%未満 進展遅れ：60%未満	取組の 種別	H24～30年度 事業費 (百万円)
〇ものづくり基盤技術の高度化と サポーティング産業の振興 (3(9)ア)	・装置開発等に係る技術開発プロジェクト実施【達成】 ・電気自動車の試作、性能評価【達成】		ソフト交付金 ソフト交付金	388 304
〇税制措置	・産業高度化・事業革新促進地域		国税 157件 (2,761百万円) 地方税 882件 (5,896百万円)	
〇原材料の確保及び高品質化の 推進 (3(9)ア)	・県産農林水産物加工品付加価値向上に係る研修会等【概ね達成】 ・サトウキビの機械化、黒糖の品質向上のための試験研究【達成】		ソフト交付金・国補助 ソフト交付金	546 446
〇付加価値の高い製品開発及び 事業化の促進 (3(9)ア)	・県内ものづくり企業に対する製品開発支援等【達成】 ・沖縄ものづくり振興ファンド有限責任事業組合からの企業への出資【進展】		ソフト交付金 ソフト交付金	1,565 13
〇県外市場等における県産品の 販路拡大 (3(9)イ)	・沖縄フェアの開催、県内企業支援等の実施【達成】 ・海外への県産プロモーションや市場調査等【達成】 ・沖縄県産優良品の推奨【達成】		ソフト交付金 ソフト交付金 県単	1,198 3,171 52
〇税制措置	・沖縄県産酒類の酒税軽減措置			(酒税) 18,861百万円
〇原材料の確保及び高品質化の 推進 (3(9)ア)	・喜如嘉の芭蕉布向けの糸芭蕉の採掘技術者の育成研修等【概ね達成】		県単等	29
〇ものづくり先進モデル地域の形成 (3(9)ア)	・立地企業の投下固定資産取得経費の一部助成【達成】 ・賃貸工場の整備【達成】 ・製造業に係る新規雇用者の技術習得のための研修助成【達成】		県単 ソフト交付金 国補助・県単	321 9,819 48
〇ものづくり基盤技術の高度化と サポーティング産業の振興 (3(9)ア)	・装置開発等に係る技術開発プロジェクト実施【達成】(再掲) ・電気自動車の試作、性能評価【達成】(再掲)		ソフト交付金 ソフト交付金	388 304
〇付加価値の高い製品開発及び 事業化の促進 (3(9)ア)	・沖縄ものづくり振興ファンド有限責任事業組合からの企業への出資【進展】(再掲)		ソフト交付金	13
〇文化産業の創出 (3(6)ア)	・県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開の支援【達成】 ・沖縄の文化等を活用したコンテンツ制作プロジェクトの支援等【進展】		ソフト交付金 ソフト交付金	889 187
〇スポーツ関連産業の振興 (3(6)ア)	・県内スポーツイベントの創出・定着化への補助等【達成】 ・スポーツ関連ビジネスモデル事業の実施等【達成】		ソフト交付金 ソフト交付金	618 218
〇健康サービス産業の振興 (3(6)ア)	・ウェルネス・医療ツーリズム関連事業に取り組む事業者等支援【達成】		ソフト交付金	181
〇先端的な環境サービス(商品、 技術等)の開発推進 (3(6)イ)	・県内エネルギー関連産業の海外展開支援、ニーズ調査等【達成】 ・産廃物や水処理等の島しょ型循環システムの海外展開支援【達成】		ソフト交付金 ソフト交付金	268 79
〇MICEを活用した新たな産業の 振興 (3(6)オ)	・展示会・商談会の誘致・開催支援【進展】 ・沖縄のMICE開催環境PR【進展】 ・MICEネットワークによる誘致・受入等に関する部会・勉強会の開催【達成】		ソフト交付金 ソフト交付金 ソフト交付金	15 74 35
〇県外市場等における県産品の 販路拡大 (3(9)イ)	・県内縫製事業者の研修、かりゆしウェア普及促進イベントの実施【達成】 ・泡盛の商品開発、販売展開支援等の実施【進展遅れ】		ソフト交付金 ソフト交付金	299 812

初期アウトカム（「成果指標」）※2				
	基準値	実績値	改善状況	R3年度目標値
製造品出荷額（石油・石炭除く）（億円）	3,992.0	4,426.7	↑	5,600.0
沖縄フェア売上高（億円）	5.6	6.2	↑	6.6
ビール業界の県外・海外出荷（数量：kℓ/比率：％）※3	(県外) 5,418/ 10.1 (海外) 559/ 1.0	(県外) 9,546/ 17.6 (海外) 3,531/ 6.5	↑	県外・海外 合わせて 17,889/ 29
泡盛製造業界の営業利益率（％）※3	4.4	2.9	↘ ※4	4.1
沖縄の一般消費者の酒税負担の軽減額（億円）※3	35	27	↘ ※4	約29
沖縄県産酒類の県内出荷数量（ビール類/泡盛）（kℓ）※3	47,743 18,440	41,227 13,684	↘ ※4	43,798 14,741
工芸品生産額（億円）	41.3	40.2	↘	65.0
臨空・臨港型産業における新規立地企業数（累計）（社）	47	178	↑	260
製造業従事者数（人）	24,812	26,042 ※5	↑	28,000
文化コンテンツ関連事業所数（事業所）	257	261	↑	258
スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数（事業者）	4	22	↑	32
沖縄エスティック・スパ利用県外観光客市場規模（億円）※6	170.0	213.4	↑	232.0
エネルギー関連産業において海外展開する企業数（社）	0 ※7	1	↑	1
M I C E 開催による経済波及効果（間接効果）（億円）	252	291	↑	506
沖縄M I C E ネットワーク会員数（団体）	0	244	↑	130
かりゆしウェア製造枚数（万枚）	35.0	42.5	↑	50.0
泡盛の出荷数量（kℓ）	22,297	17,246	↘	28,700

最終アウトカム（「目標とするすがた」）					各施策に属する取組の有効性の評価	施策及びその評価に関する論点
	基準値	実績値	改善状況	R3年度目標値		
製造品出荷額（石油・石炭除く）の増加（億円）	3,992.0	4,426.7	↑	5,600.0	一定程度有効に機能	・初期アウトカムと最終アウトカムが同一のもの（「製造品出荷額（石油・石炭除く）」）となっており、施策の目的に照らして、事業の進捗・成果の発現に沿った段階的な成果指標の設定を通じて、適切に事業効果を把握する余地がないか検討が必要 ・ 税制措置 （産業高度化・事業革新促進地域）については、本税制を活用した企業による生産性の向上や新商品開発等のための設備投資が行われており、また、これまでの適用実績を踏まえれば一定の効果が認められるものの、初期アウトカムが当該税制措置の効果を端的に把握するための適切な指標とはいえず、最終アウトカムに対する適切な効果把握に課題あり ・ 税制措置 （沖縄県産酒類の酒税軽減措置）については、一般消費者の酒税負担軽減を通じた酒造業者の経営の下支えに一定の効果は見られるものの、泡盛製造業界については営業利益率が減少していることを考え合わせると、当該税制措置の一義的な評価が困難であることから、最終アウトカムに対する適切な効果把握に課題あり （参考） 初期アウトカム「改善不十分（↑）」または「改善せず（↔）」の背景・要因 ・ 工芸品産出額 工芸品の製造に必要な良質な原材料の不足、作業工程がほぼ手作業で技術技法の習得に長期間を要することや、経営形態が零細・個人工房が多いことに伴う収入の不安定さ等を理由とした、好調で収入の安定した他産業への転出、従事者の高齢化に伴う離職等による担い手不足 等 ・ 泡盛の県内出荷数量 全国的な若者のアルコール離れ、消費者嗜好の多様化等による国内酒類市場の縮小等による影響 等
					適切な効果把握に課題あり	
					一定程度有効に機能	
					一定程度有効に機能	
					一定程度有効に機能	
製造業従事者数の増加（人）	24,812	26,042※5	↑	28,000	一定程度有効に機能	・初期アウトカムと最終アウトカムが同一のもの（「製造業従事者数」）となっており、施策の目的に照らして、事業の進捗・成果の発現に沿った段階的な成果指標の設定を通じて、適切に事業効果を把握する余地がないか検討が必要
					一定程度有効に機能	
					一定程度有効に機能	
沖縄の魅力や優位性を活かした新事業・新産業が生み出されていること（％）※8	18.5	19.8	↑	県民満足度の向上	一定程度有効に機能	・文化産業の創出やスポーツ関連産業等の振興、先端的な環境サービスの開発促進に係る施策の初期アウトカムとしてこれらの産業に係る事業者数等が設定されるに止まっており、市場規模や売上高といった新事業・新産業の創出による経済効果を端的に把握できる成果指標の設定について検討が必要 ・最終アウトカムとして県民意識調査の調査値が設定されているため、客観的数値による目標設定をする余地がないか検討が必要 （参考） 初期アウトカム「改善不十分（↑）」または「改善せず（↔）」の背景・要因 ・ 泡盛の出荷数量 泡盛の海外への販路拡大等に向けた先進モデル事業等の取組により、海外輸出数量については増加が見られた（平成23年：18kℓ→平成30年：31kℓ）ものの、それを大きく上回る、全国的な若者のアルコール離れ、消費者嗜好の多様化等による国内酒類市場の縮小等による影響 等
					一定程度有効に機能	
					一定程度有効に機能	
					一定程度有効に機能	
					一定程度有効に機能 ただし、MICE開催による経済波及効果（間接効果）に係る取組については 改善・見直しの余地あり	
県外の友人、知人等に自信をもって勧めることができる地域の特産品があること（％）※8	39.3	42.3	↑	県民満足度の向上	一定程度有効に機能 ただし、泡盛の出荷数量に係る取組については 改善・見直しの検討が必要	

※1 初期アウトカムに対応した施策を列挙しているため、一部の施策については再掲。

※2 単に取組のアウトプットを成果指標としており、アウトカムとは整理し難い場合、初期アウトカムには含めていない。

アウトプット指標：「沖縄県が実施する海洋資源に関する講演会・イベント等への累計参加者数」「海洋資源利活用に向けた研究等への事業化累計支援数」

※3 検証シートでは当該指標は成果指標として設定されていないところ、便宜上、同シートの政策ツール欄に記載の各指標を初期アウトカムとして転記。

※4 本来は基準値からの増加を目指す目標値の設定が望ましいところ、実績値が目標値を下回っていることを踏まえ、便宜上「」（改善せず）とする。

※5 実績値は原則、県総点検報告書（令和2年3月作成）に記載の実績値とするため、これに従うと平成29年の数値となるところ、その後公表された平成30年工業統計調査から最新の数値（H30.6.1時点）を記載。

※6 初期アウトカム指標は、「エステ・スパを行った人×総消費単価」によって算定。

※7 基準値は原則、県総点検報告書（令和2年3月作成）に記載の基準値とするところ、同報告書において基準値の設定がないことから、便宜上、沖縄県PDCA実施報告書（対象年度：平成30年度）に掲げる直近5か年度の実績のうち最も過去の数値を基準値とする。

※8 沖縄県が実施した第7回県民意識調査（平成21年）・第8回同調査（平成24年）・第10回同調査（平成30年）における県民生活の充足度に係る質問への回答のうち、「非常に満たされている」又は「ある程度満たされている」と回答した人の割合をそれぞれ比較。

主な取組の評価（②産業イノベーション関連）

＜製造品出荷額の増加＞

- 増加した要因としては、下記の製造業従事者数の増加に係る各種取組の効果に加えて、付加価値の高い製品開発及び事業化の推進に向けたソフト交付金による**県内ものづくり企業に対する製品開発支援**、原材料の確保及び高品質化の推進に向けたソフト交付金・国補助による**県産農林水産物加工品付加価値向上に係る研修会**、県外市場等における県産品の販路拡大に向けたソフト交付金による**海外への県産品プロモーションや市場調査等**の取組が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。
- 税制措置（沖縄県産酒類の酒税軽減措置）**については、一般消費者の酒税負担軽減を通じた酒造業者の経営の下支えに一定の効果は認められるものの、泡盛製造業界の営業利益率が減少していることを考え合わせると、当該税制措置の一義的な評価が困難であることから、最終アウトカムに対する**適切な効果把握に課題がある**と考えられる。
- 税制措置（産業高度化・事業革新促進地域）**については、本税制を活用した企業による生産性の向上や新商品開発等のための設備投資が行われており、また、これまでの適用実績を踏まえれば一定の効果が認められるものの、初期アウトカムである製造品出荷額が当該税制措置の効果を端的に把握するための適切な指標とは言い難く、最終アウトカムに対する**適切な効果把握に課題がある**と考えられる。

＜製造業従事者の増加＞

- 増加した要因としては、ものづくり先端モデル地域の形成に向けた県単による**立地企業の投下固定資産取得経費の一部助成**、ソフト交付金による**賃貸工場の整備等**の取組が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。

＜沖縄の魅力や優位性を活かした新事業・新産業が生み出されていること＞

- ソフト交付金による**文化産業の創出、スポーツ関連産業や健康サービス産業の振興、先端的な環境サービスの開発推進に向けた各種取組**が**一定程度有効に機能**したことが考えられる。

＜県外の友人、知人等に自信をもって勧めることができる地域の特産品があること＞

- 県外市場等における県産品の販路拡大に向けたソフト交付金による**県内縫製事業者の研修、かりゆしウェア普及促進イベントの実施等**の取組が**一定程度有効に機能**したことにより、かりゆしウェアという特産品を県外にも勧められるという認知度が高まったことが考えられる。
- 一方、県外市場等における県産品の販路拡大に向けたソフト交付金による**泡盛の商品開発、販売展開支援等の実施等**の取組が進められているものの、泡盛の出荷数量の増加は見られないことから、これらの取組については**改善・見直しの検討が必要**であると考えられる。

1. 有効性が認められる取組

取組 ※ 1	種別	事業費 (百万円)
--------	----	--------------

製造品出荷額の増加

〔一定程度有効に機能〕

【付加価値の高い製品開発及び事業化の推進(3(9)ア)】		
○県内ものづくり企業に対する製品開発支援等	ソフト交付金	1,565
【原材料の確保及び高品質化の推進(3(9)ア)】		
○県産農林水産物加工品付加価値向上に係る研修会等	ソフト交付金・国補助	546
【県外市場等における県産品の販路拡大(3(9)イ)】		
○沖縄フェアの開催、県内企業支援等の実施	ソフト交付金	1,198
○海外への県産品プロモーションや市場調査等	ソフト交付金	3,171

製造業従事者の増加

〔一定程度有効に機能〕

【ものづくり先端モデル地域の形成(3(9)ア)】		
○立地企業の投下固定資産取得経費の一部助成 ※ 2	県単	321
○賃貸工場の整備	ソフト交付金	9,819

沖縄の魅力を活かした新事業・新産業が生み出されていること

〔一定程度有効に機能〕

【文化産業の創出(3(6)ア)】		
○県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開の支援	ソフト交付金	889
【スポーツ関連産業の振興(3(6)ア)】		
○県内スポーツイベントの創出・定着化への補助等 ※ 3	ソフト交付金	618
【健康サービス産業の振興(3(6)ア)】		
○ウェルネス・医療ツーリズム関連事業に取り組む事業者等支援 ※ 3	ソフト交付金	181
【先端的な環境サービスの開発推進】(3(6)イ)】		
○県内エネルギー関連産業の海外展開支援、ニーズ調査等 ※ 3	ソフト交付金	268

県外の友人、知人等に自信をもって勧めることができる地域の特産品があること

〔一定程度有効に機能〕

【県外市場等における県産品の販路拡大(3(9)イ)】		
○県内縫製事業者の研修、かりゆしウェア普及促進イベントの実施	ソフト交付金	299

2. 有効性に課題ありと考えられる取組

取組 ※ 1	種別	事業費 (百万円)
--------	----	--------------

県外の友人、知人等に自信をもって勧めることができる地域の特産品があること

〔改善・見直しの検討が必要〕

【県外市場等における県産品の販路拡大(3(9)イ)】		
○泡盛の商品開発、販売展開支援等の実施	ソフト交付金	812

3. 適切な効果把握に課題ありと考えられる取組

取組	種別	事業費 (百万円)
----	----	--------------

製造品出荷額の増加

【税制措置】		
○産業高度化・事業革新促進地域	税制措置	—
○沖縄県産酒類の酒税軽減措置		

※ 1 列挙した取組は、ロジックモデルにおける「主な取組」から抽出。有効性が認められる取組については、事業費が一定規模（10億円以上）であり、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定。ただし、本分野においては、列挙される取組数を勘案し、上記に加えて、最終アウトカムごとに、事業費が10億円未満であるものの当該最終アウトカムに紐づけている施策の「主な取組」に列挙されている予算事業の中で、既に選定された事業がある場合はそれを除き、最も事業費が大きく、かつ、達成状況が「達成」又は「概ね達成」の予算事業を選定

※ 2 「立地企業の投下固定資産取得経費の一部助成」については、初期アウトカム（臨空・臨港型産業における新規立地企業数）への親和性が高いと考えられることから、※1ただし書きの基準には拠らずに記載。

※ 3 「県内スポーツイベントの創出・定着化への補助等」、「ウェルネス・医療ツーリズム関連事業に取り組む事業者等支援」、「県内エネルギー関連産業の海外展開支援、ニーズ調査等」については、新事業・新産業創出が重要な政策課題であることに鑑み、※1ただし書きの基準には拠らずに記載。